

お お く ぼ な が や す は ち お う じ ま ち
大久保長安と八王子の町



はちおうじ し き じんぶつ お お く ぼ な が や す じん や あ と ひ
▲八王子のまちづくりの指揮をとった人物・大久保長安の陣屋跡碑

はちおうじえき きたがわ とうざい つらぬ こうしゅうかいどう とお ぞ おお しょうてん た なら
八王子駅の北側を東西に貫く甲州街道。通り沿いには多くの商店が建ち並んでいます。こ
の街並みが出来たのは八王子城が落城して江戸時代になってからのことです。戦乱による
こうはい あたら まち おこな おお ぼ な が や す しら
荒廃から新しくつくられた町と、そのまちづくりを行った大久保長安という人について、調
べてみましょう。

はちおうじじょうらくじょう とくがわいえやす え ど い 八王子城 落城と徳川家康の江戸入り

はちおうじじょう とよとみひでよし ぐんぜい らくじょう てんしやう ねん ねん がつ
八王子城が豊臣秀吉の軍勢によって落城したのは、天正18年(1590年)6月のことでし
た。その時小田原にいた城主・北條氏照も翌月に小田原で北條氏の人々と共に切腹、北條
氏は滅亡しました。

いくさ やが らくじょう じやうしゆ うしな はちおうじ まち ぶし あ は
戦に敗れて落城し、城主も失った八王子の町は武士たちがうろつき、荒れ果てていました。
まもなく滅亡した北條氏に代わって関東の領主として徳川家康が江戸にやってくることにな
りました。江戸の西に位置し、武田氏の旧領、甲府に通じる甲州街道のほか、川越街道や
鎌倉街道が走る八王子は江戸の西の守り口として重要な場所と考えられ、新たなまちづく
りがはじまりました。徳川家康から八王子のまちづくりを任されたのが大久保長安という人
です。

おおくほながやす 大久保長安によるまちづくり

はちおうじじょう らくじょう じやうかまち いま ひがし うつ こうしゅう
八王子城が落城し、その城下町は今までよりも東に移されることになりました。甲州
かいどう せいび りやうがわ よこやま ようかいち はちまん みつ やど うつ あたら はちおうじ まち
街道を整備し、その両側に横山、八日市、八幡の三つの宿を移し、新しい「八王子」の町とな
ったのです。戦乱で八王子を離れていた人たちも新しい町に戻ってきました。今まで
「八王子」と呼ばれた八王子城の城下町は後に「元八王子」と呼ばれるようになりま
した。

おかとじゆく げんざい おかとまち ながやす じんや もう かんとうじゅうはちだいかん はちおうじ
小門宿(現在の小門町)には長安の陣屋が設けられ、関東十八代官とともに、八王子だけ
なく関東の統治を行いました。牢屋もあり、警察の役割も果たしました。産千代稲荷神社がそ
の跡地と言われています。江戸の守り口として旧武田家家臣らを中心とした武士集団を
そしき けいび はちおうじせんにとんしん げんざい せんになんちやう くれ
組織、警備にあたらせました。八王子千人同心のはじまりです。現在の千人町には彼らの
やしき たち並びました。

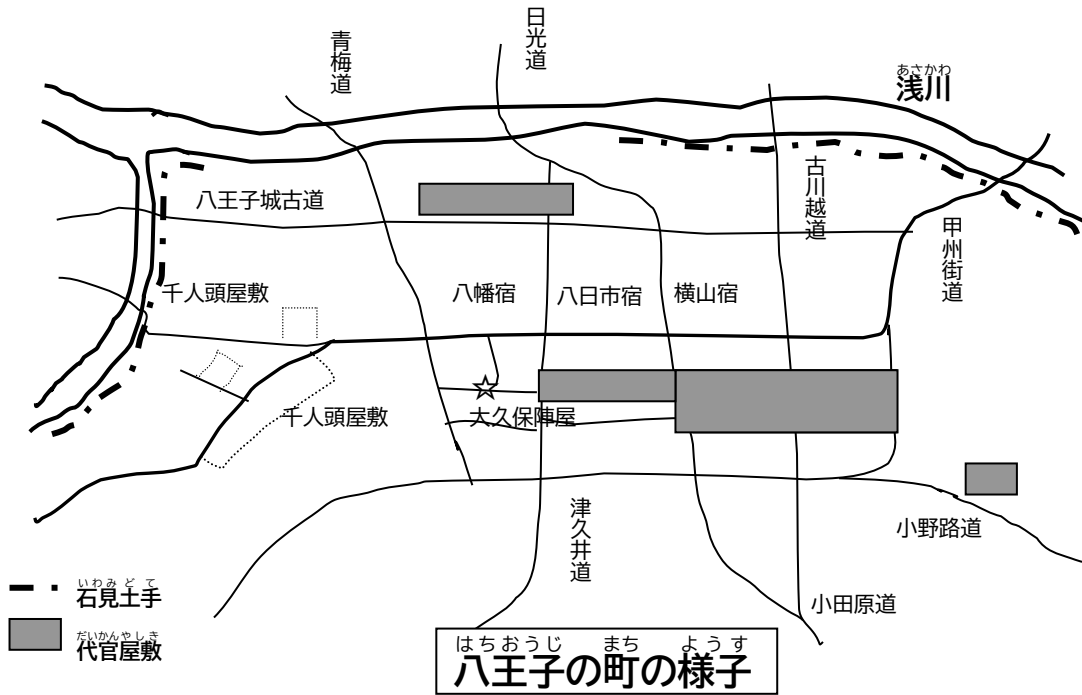
え ど じだい こうつうもう せいび しゅうや
江戸時代、交通網が整備され、主要な
かいどう いちりづか もう こうしゅう
街道には一里塚が設けられました。甲州
かいどう いちりづか はちおうじ しんちやう
街道の一里塚のうち、八王子には新町の
たけ はな もう しんちやう たけ
竹の花などに設けられました。新町の竹
はなこうえん ししていしせき たけ はな
の花公園には市指定史跡として、竹の鼻
いちりづかあと のこ たけ はな
一里塚跡が残っています。「竹の花」と
たけ はな ふた か かた
「竹の鼻」の二つの書き方があります。)

また、度々氾濫して大きな被害を出して
いた浅川には堤防が築かれました。
せんになんちやう ひよしちやう しんちやう あた つづ
千人町・日吉町から新町の辺りまで続
だいきほ
大規模なものです。



▲ いわみとて そつかくいん
石見土手(宗格院)

げんざい せんになちやう そうかくいん のこ ながやす いわみのかみ なの
 現在、千人町の宗格院にわずかに残っており、長安が「石見守」と名乗っていたことから
 いわみどて よ
 「石見土手」などと呼ばれています。



おおくほながやす じんぶつぞう 大久保長安の人物像

おおくほながやす てんぶん ねん ねん たけだし さるがくし ぶし つか のう げいのう ひと
 大久保長安は天文14年(1545年)、武田氏の猿樂師(武士に仕え能という芸能をした人)の
 じなん い われられています。もともと武士の身分ではありませんでしたが、武田信玄によって ぶし
 と 取り立てられ、そせい しょくりよう おも みんせい たんとう たけだけ めつぼう ご
 租税や食糧など主に民政を担当していました。武田家が滅亡した後、その
 さいのう みと とくがわいえやす かしん
 才能を認められて徳川家康の家臣となります。

てんしょう ねん ねん いえやす かんとう くに が とき ながやす いえやす したが
 天正18年(1590年)に家康が関東へ国替えとなった時、長安も家康に従いました。
 はちおうじ はい おかど じんや もう だいかんがしら ほか だいかん かんとう とうち はちおうじ
 八王子に入って小門に陣屋を設けて、代官頭として他の代官とともに関東の統治や、八王子
 などの町の整備・支配をしました。

ご ざいせい こうつう かつやく たほうめん わた とく いわみぎんざん げんざい しまねけん いず
 その後、財政や交通など活躍は多方面に渡りました。特に石見銀山(現在の島根県)、伊豆
 きんざん げんざい しずおかけん ぶぎよう さど げんざい にいがたけん だいかん かくち きんぎんざん ぞうさん せいか
 金山(現在の静岡県)の奉行、佐渡(現在の新潟県)の代官として、各地の金銀山の増産に成果
 を挙げ、その才能を発揮しました。

ながやす けいちやう ねん がつ にち すんが げんざい しずおかけん しょうがい と
 長安は慶長18年(1613年)4月25日、駿府(現在の静岡県)でその生涯を閉じました。そ
 の死後、徳川家康に生前の不正の疑いをかけられ、財産は没収、残された男子7人も死罪と
 なってしまいました。いえやす うたが しんじつ わ ながやす すぐ さいのう ぜんこく
 家康の疑いが真実だったか分かりません。長安の優れた才能、全国
 かくち こうざんかいはつなど たくわ おお ざいさん せつきん いえやす きねん う おそ
 各地の鉱山開発等で蓄えた多くの財産、キリシタンとの接近が家康の疑念を生み、また恐れ
 させたという説もあります。

しら 調べてみましょう

ひとつのテーマについて調べる時、何冊かの本を調べることは、とても大切なことです。次にあげる参考文献は、図書館にある本の中で、小・中学生のみなさんにもわかりやすいものです。自分で調べ、まとめてみましょう。市内のどの図書館に所蔵しているかは館内OPACで検索、または職員へおたずねください。

※☆印のついているものは、特に小学生におすすめのものです。

『市民のための八王子の歴史』 樋口豊治／著 1998年
旧石器時代から現代までの八王子市の歴史を解説。

『わが町の歴史八王子』 村上直／ほか著 1979年
原始時代から戦後までの八王子の歴史を解説。

『江戸時代の八王子宿』 樋口豊治／著 1990年
江戸時代の八王子宿の成立をはじめに、八王子宿について解説。

『図説 八王子・日野の歴史』 峰岸純夫／監修 2007年
写真や図は多いが、説明は少し難しめ。

☆『長安さまのまちづくり』 吉田美江／文 長野美穂／画 2015年
小学生にも読みやすい大久保長安の伝記。

『大久保長安と八王子』 八王子市郷土資料館／編 2013年
郷土資料館で行われた大久保長安の没後四百年記念事業の冊子。

『大久保長安に迫る』 村上直／ほか著 2013年
大久保長安の全国各地での活躍を解説。

☆『郷土みてある記』 八王子市生活文化部広報課／編 1995年
小学校の先生が、八王子の歴史や関係の人物や動植物、事柄を小学生もわかるようにやさしく解説したもの。

編集・発行 八王子市中央図書館

平成27年(2015年)7月
令和4年(2022年)1月 改訂